



令和3年12月8日	
資料提供	
担当課(室)	県立博物館
担当班・係	学芸課
担当者	主任学芸員 大河内
電話	073-436-8670 (博物館代表)

## 海南省下津町・大崎観音堂への「お身代わり仏像」の奉納について

県立博物館では、県立和歌山工業高等学校、和歌山大学教育学部の協力を得て、3Dプリンターを用いた文化財の精巧な複製を作り、文化財の防犯や防災の対策への活用を図っています。高齢化や人口減少などの要因により、管理や保全が困難になっている地域の寺社にある文化財を博物館で保管し、かつ、信仰されてきた環境を維持するための取り組みで、平成24年度から令和2年度までに、県内15か所の寺社に29体の「お身代わり仏像」を安置しています(※今回奉納分を含むと16ヶ所・30体)。

このたび、昨年から製作していた海南省下津町・大崎観音堂に安置するお身代わり仏像が完成し、下記日程にて奉納することとなりましたので、お知らせします。

現地には製作に携わった県立和歌山工業高等学校の生徒(在校生・卒業生)と、着色作業を行った和歌山大学の学生が訪れ、完成したお身代わり仏像を地域住民の皆さんにお渡しし、交流を図ります。

なお、今回の奉納は、生徒・学生が地域の方々と交流を行うことで学びをより充実したものにするとともに、住民の方々がお身代わり仏像を身近に感じていただく機会とすることを目的としています。

日時 令和3年(2021)12月19日(日)10時30分ごろ~12時終了予定

場所 大崎観音堂(海南省下津町大崎390) ※別紙の地図をご参照下さい。

※車は観音堂そばの、旧大崎小学校(海南省下津町大崎383)広場に駐車して下さい。

奉納仏像 宝冠釈迦如来坐像(伝観音菩薩坐像)の3Dプリンターで製作したお身代わり仏像

参加者 大崎地区のみなさん、和歌山工業高校産業デザイン科生徒(在校生及び卒業生)・教員  
和歌山大学教育学部学生、海南省教育委員会職員、和歌山県立博物館職員

内容 大崎観音堂へのお身代わり仏像の奉納。生徒・学生と地域住民の交流。

当日連絡先 主任学芸員 大河内智之(090-9546-6094)・大崎区長 谷上昌賢(090-1027-2605)



左:実物 右:お身代わり仏像

ほうかんしゃかによらいざぞう でんかんのんぼさつざぞう  
宝冠釈迦如来坐像(伝観音菩薩坐像) 像高35.7cm

万葉集にも詠われた大崎の港をのぞむ高台にある、大崎観音堂(妙見山観音寺)の本尊です。観音菩薩として信仰されていますが、衣と袈裟を着て腹前で印を結んだ姿から、本来は宝冠釈迦如来という仏として造られたものと分かります。銅で铸造した仏像で、表面には金箔を貼っています。

同じ観音堂には、天文10年(1541)に作られたことが分かるよく似た作風の達磨坐像や伽藍神坐像が伝わり、本像も同時期に同作者が製作したものです。観音堂が元は禅寺であったことも仏像から分かります。戦国時代の大崎港の維持・管理に関わった禅寺の本尊像だったのでしょうか。

## 大崎観音堂所在地



※大崎地区のご要望で、下津港側からは進入せず、加茂郷駅付近から北上してお越し下さい。



※港まで降りると車で現地へ登れません。当日は進入路沿いに看板等を用意いただく予定です。  
駐車場の旧大崎小学校広場から大崎観音堂までは徒歩すぐです。

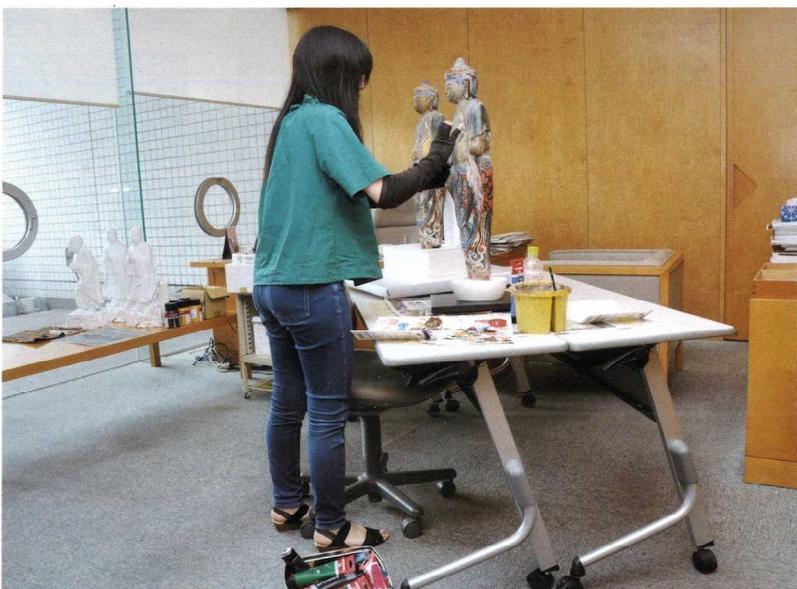
# 3Dプリンター製お身代わり仏像の制作方法



(図1)



(図2)



(図3)

- ① 3D スキャナーを用いて資料を様々な角度から非接触で計測 (図1)。
- ② 得られた3D データをCAD ソフトを用いて修正 (図2)。
- ③ 3D プリンターを用いて、ABS 樹脂やASA 樹脂等で出力。
- ④ 部品の接着、表面の研磨等による下地仕上げ。
- ⑤ アクリル絵の具を用いて彩色し完成 (図3)。

製作にあたっては、和歌山県立和歌山工業高等学校産業デザイン科の担当教員と調整の上、実習時間にあわせて学芸員が資料を輸送し、生徒と計測やデータ修正の作業を進めています。完成したデータは3Dプリンターで出力し、各パーツは博物館職員によって表面をアセトンで融解したりサンドペーパー、ルーターを用いて研磨した後、接着して隙間をエポキシパテで埋め、ジェッソを塗布して下地処理を行います。その上で、ミュージアムボランティアに登録した和歌山大学教育学部学生が博物館内でアクリル絵の具を用いて着色しています。